

かみのやま温泉街における温泉熱利用設備導入基本設計業務

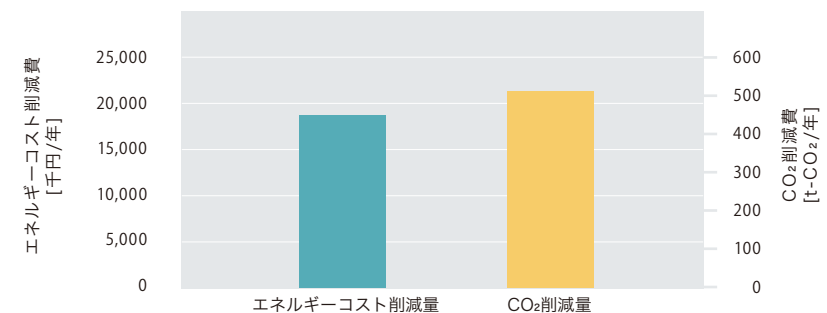
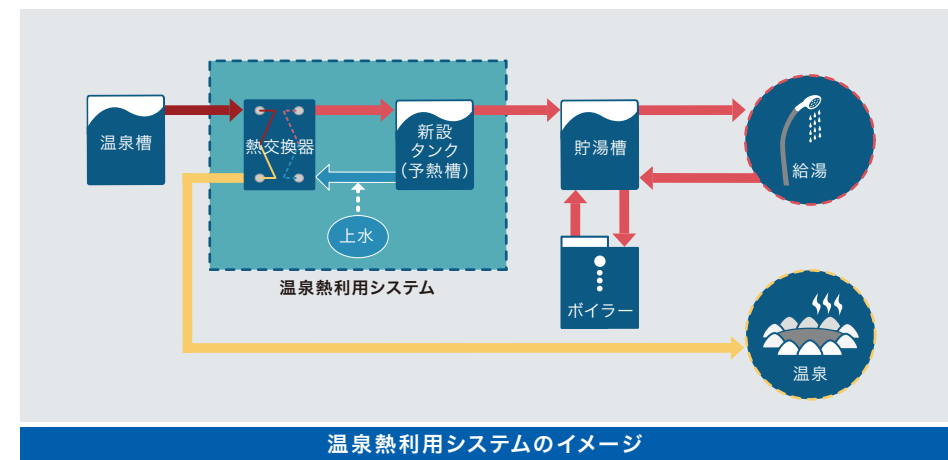
かみのやま温泉における温泉旅館で、地域資源の再エネ熱である温泉熱を利用した省エネ設備を計画

山形県上山市のカーボンニュートラル達成に向けて「かみのやま温泉街」の温泉旅館における温泉熱利用設備の基本設計を行いました。

複数軒の温泉宿において温泉等の実測調査、既存設備システムの調査を行い、温泉熱量と熱需要量を把握のうえ、温泉宿ごとに温泉熱利用システムの検討、基本設計を行いました。

地域脱炭素モデル計画の概要

- システム検討のために、温泉旅館の設備状況の確認と温泉使用量や温度等を実測しました。
- 当社独自の計測システムによる長期的な計測により温泉熱量やボイラー等の設備における熱量を把握しました。
- 現地調査、計測及び実態把握の結果から、温泉熱利用の方針を決定し、検討方針に基づいて各温泉旅館のシステムの基本設計をしました。
- 温泉熱利用システムの導入に必要なイニシャルコストや、導入した場合のエネルギーコスト削減効果、CO₂削減効果の試算、投資回収年数等を試算しました。



対象温泉旅館合計7軒の削減エネルギーコスト、CO₂削減量